

要旨は全体の中心をまとめる

図解 | 本文の例で、読み方を確かめよう

最後の段落だけで決めず、例と考えを結ぼう

1 話題

何について書かれた文章か。

2 中心と補足

筆者の考えと、それを示す例を分ける。

3 結び付ける

離れた段落の大事な内容も残す。

次の文章を読んで、あとの問いに答えましょう。

- ① 言葉を使えるようになるには、意味を覚えるだけでなく、どんな場面で使うかを確かめたい。相手との関係や、その前後の言葉で、受け取られ方が変わることがあるからだ。
- ② 例えば、「結構です」という返事は、提案を認める意味でも、勧められた物を断る意味でも使われる。何を尋ねられ、どのような言い方で答えたかを見なければ、返事の意味を取り違えることがある。
- ③ 新しい言葉を覚えたら、その言葉を使った短いやり取りを作ってみよう。相手からどんな質問があり、何を伝えたくて答えるのかを考えると、使い方を確かめやすい。

段落のつながりを図にすると

① 中心的な考え

意味だけでなく、使う場面を確かめる。

② 具体例と理由

同じ返事でも、関係や前後の言葉で受け取り方が変わる。

③ 実践の例

短いやり取りを作って、使い方を確かめる。

③の練習方法だけをまとめると、なぜ必要かが落ちます。①の考えと②の理由を結び付けましょう。

まとめ方を例題で確かめる

例題 | 1ページの文章を使おう

読み方の基本

要旨は、文章全体で最も伝えたい中心的な内容・考えです。要約は、目的に応じて文章全体や一部を短くまとめること。要旨では、具体例を並べるより、話題と中心的な考えのつながりを示します。

例題

本文全体の要旨を、四十字以上六十字以内で書きなさい。

解答例

言	葉	の	受	け	取	ら	れ	方	は	相	手	と	の	関	係	や	前	後	の	20 40 60
言	葉	で	変	わ	る	た	め	、	意	味	だ	け	で	な	く	使	う	場	面	
も	確	か	め	て	覚	え	る	こ	と	が	大	切	だ	。						

〔55字〕 話題は「言葉の覚え方」。中心的な考えに、必要な理由を結び付けました。

よくある読み違い

「結構ですには二つの意味がある」は②の具体例だけ。「会話を作るとよい」は③の方法だけです。全体をまとめるときは、例を含められる言葉に広げましょう。

残す内容を選ぶ手順

①繰り返す語や言い換えを探す。
②筆者の考えを支える具体例は、共通点でまとめる。
③逆接の後、条件、対比の片方を落としていないか確かめる。

読み直すときのチェック

- ☐ 文章全体の話題と中心的な考えを結んだか。
- ☐ 一つの具体例だけに狭まっていないか。
- ☐ 離れた段落の大事な条件も残したか。
- ☐ 自分の感想や、本文にない断定を足していないか。

字数指定では、句読点・かぎカッコ・小さい「っ」「ゃ」なども一字と数えます。